科目名	家庭総合	履修学年	第１学年
		履修形態	必修
		履修単位	２単位
使用教科書（出版社）	新家庭総合　主体的に人生をつくる（大修館書店）		
使用教材（出版社）	生活学Navi 資料＋成分表　2018（実教出版）		

学習の目標

・生きていく上で必要な生活の実践力を身につける。
・人の一生と家族・家庭、衣生活、消費生活、住生活、持続可能な社会に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
・家庭や地域の生活課題を主体的に解決する能力と実践的な態度を身につける。

教科担当者から

・日常生活と密接した内容を学習します。
・授業で行う実習だけでは生活に関する技術は身に付きづらいので、授業で学習したことを家庭でも繰り返し実践すること。
・定期考査（４回）の他に、提出物（期限厳守）や授業態度等の評価も高いので、毎回のプリント提出や小テストなど意欲的に取り組むこと。
・授業中に積極的に発言し、板書をノートにきれいに記入すること。
・プリントには自分の考えを問う事項もあるので、自分の意見を具体的に書くこと。

評価の観点・方法・割合

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技　能	知識・理解	
規準	・自分の生活を振り返りながら授業に参加しているか。 ・板書をノートに写す、授業中の発言などを積極的に行っているか。 ・グループワークに積極的に参加しているか。	・家庭や地域の生活に関心を持ち、生活問題について考え、解決に向けて取り組んでいるか。 ・自分の考えを文章で表現したり言葉で表現することができるか。	・被服実習において基礎的・基本的な技術を身につけることができたか。 ・指定された作品を丁寧にきれいに作ることができたか。	・授業で学んだ内容を理解し、知識として定着されているか。 ・家庭生活を築いていく上で必要な基本的な知識や技術、マナーなどを理解しているか。	
方法	※　◎は観点の中でより重視するところです。				
学習状況の観察	◎				
実習の取り組み	○		◎		
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸへの取り組み	◎	○			
提出物		◎	◎	○	
定期考査		○	○	◎	
割合	15%	15%	10%	60%	

評価の基準　※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
１００～８５点程度	８４点～７０点程度	６９点～５０点程度	４９点～３０点程度	３０点未満

学習内容

学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点 関	思	技	知		時間
前期	4	家庭科を学ぶにあたって 第１章　人の一生と青年期の課題をみつめよう １　人の一生と生涯発達 ２　青年期の課題と自立 ３　主体的に生きるための意思決定	○学習の意義を理解し、目的意識をもつ。 ○自分の生活と自分自身についてみつめ、自己理解を深める。 ○成長・発達を理解し各ライフステージの特徴と発達課題を理解する。	○ ○	○ ○		○		1 5
	5	第２章　家族・家庭と社会について考えよう １　現代の家族・家庭 ２　家族・家庭に関する法律 ３　家族・家庭と社会	○現代の家族の特徴を知り、家庭の機能が家族員それぞれの協力によって果たされていることを認識し、各自の家庭での役割を考える。 ○家族に関する法律を理解し、制度としての家族について考える。 ○男女共同参画社会の実現をめざし、男女がともに家庭生活の責任を果たし、人間らしい生き方をするための課題を考える。		○		○		10
	6	第８章　健康で快適な衣生活をつくろう １　衣生活をみつめよう ２　着ごこちのよい被服 前期中間考査 ３　衣生活の計画と管理 ４　被服製作の基本 【実習】被服製作	○被服を着る意義を知る。 ○衣生活の変遷を知り、被服の機能を理解し、現在の衣生活と課題について考える。 ○被服計画の大切さを知る。 ○被服材料の種類や特徴を知り、手入れ方法を理解する。 ○被服を手づくりすることの楽しさや意義を考える。 ○被服製作の工程と留意点を理解し、日常生活に役立つ縫製に関する基本的な知識と手法を理解する。	○ ○	○	○	○ ○		26
	9	第６章　経済生活を設計しよう １　現代の消費生活 ２　消費者問題の現状と課題 ３　消費者の権利と責任 前期期末考査 【言語活動】ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ①	○毎日の生活を営むために必要な費用を知り、家計を中心とした経済の循環を理解する。 ○リスク管理を含め長期的見通しをもち、家庭の経済計画を立てることができ、家計管理の方法を知る。 ○消費生活の多様化・複雑化を理解する。 ○商品の購入方法、支払い方法の種類と特徴を知る。 ○消費者問題が発生する原因を知る。売買契約をめぐる消費者問題の特徴と仕組み、消費者を救済する法律や制度について理解する。	○	○ ○	○	○ ○		10
後期	10	４　消費生活における意思決定 ５　家庭の経済生活							
	11	第９章　安全で快適な住生活をつくろう １　住生活の成り立ち 後期中間考査	○住まいの機能を理解し、気候風土により住まいが地域によって異なることを知る。 ○住生活や住文化の変化や特徴を理解する。	○	○				13
	12	２　家族の生活と住空間 【言語活動】ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ② ３　健康で安全な住生活 【言語活動】調べ学習・プレゼン	○ライフスタイルやライフステージによる住まいへの要求に合った住まいの在り方を考える。 ○平面図の基礎知識を学び、家族の住要求に合った住まいであるかを平面図から読み取り、住空間づくりができるようになる。 ○快適な室内環境確保のための知識を身に付け、健康な住まいや住生活の在り方を考える。 ○安全に配慮した住まいの在り方や、防災・防犯対策について知り、自分の生活に生かす。	○		○ ○	○		
	1	４　よりよい住環境の実現をめざして	○環境に配慮した住まいの設備について知り、自分の生活を見直す。	○			○		
	3	第１０章　持続可能な社会をめざして行動しよう １　環境と調和のとれた生活 学年末考査 ２　持続可能な社会の実現をめざして ＜言語活動＞レポート作成	○日々行っている生活行為が環境への負荷を及ぼしていることを理解する。 ○市場で提供される商品が環境へ及ぼす影響を考える。 ○持続可能な社会と個々人のライフスタイルの関連を理解し、必要な法律や制度を理解し実践に結びつけられる。	○	○ ○		○		5
									70